

わたくしは、前任の東京支部長堀内さんからバトンを受け取り、2年間東京支部長をさせて頂きました。

在任中は、コロナの行動規制が徐々に解除されたことに伴い、ようやく対面形式のイベントが再開できるようになりました。支部役員は、お仕事、家事や親御様の介護などそれぞれ事情のある中、皆さん時間を調整して支部活動に積極的に参加くださいました。

令和4年度は同窓生である Izumi Yamazaki さんの「マダムから教わった L'art de vie 人生の楽しみ方」、令和5年度はマリアの宣教者フランシスコ修道院日本管区創立125周年記念講演としましてシスター入江純子の「真理と愛のルーツを訪ねて」をお願いしました。そして現在東京支部の後援事業である「西洋美術史講座」の佐藤より子先生に「ルーヴル美術館の魅力」を特別講演会としてお話しいただきました。

第18回の東京支部同窓会は、神戸より石原学長、シスター窪、青谷会顧問岡村先生、にお越しいただき、多くの同窓生が集まり心温まるよい会となりました。東京支部のイベント、同窓会にご参加いただきました皆様にこの場をおかりして御礼申し上げます。短期大学・大学で過ごした時間は、私たちの人生の中では大変短い時間ですが、学問だけでなくキリスト教精神に基づく人間としての在り方や生き方を学ばせていただきました。

2027年3月で母校が閉校するのは残念です。学び舎がなくなるという実感はまだないですが、私達が短期大学・大学で学んだこと経験したことがなくなる分けではありませんし、多くの同窓生がいることも変わりがないと思います。

在校生の皆様が、実りの多い大学生活を送られますことを心よりお祈り申し上げます。

私たちの支部活動を支えてくださいました石原学長、青谷会顧問岡村先生、青谷会本部役員の皆様へ感謝申し上げますとともに今後の青谷会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

いろいろな変化がある中、バトンを受け取ってくださった小松由美子さん、どうぞよろしくお祈りいたします。